

IN THE U.S. PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant(s): YUASA, Natsuki

Application No.:

Group:

Filed: February 20, 2001

Examiner:

For: INFORMATION DISPLAY DEVICE AND SYSTEM DISPLAYING A
PLURALITY OF INFORMATION INDEPENDENTLY

L E T T E R

Assistant Commissioner for Patents
Box Patent Application
Washington, D.C. 20231

February 20, 2001
0033-0695P

Sir:

Under the provisions of 35 USC 119 and 37 CFR 1.55(a), the applicant hereby claims the right of priority based on the following application(s):

<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Filed</u>
JAPAN	2000-042417	02/21/00

A certified copy of the above-noted application(s) is(are) attached hereto. Also enclosed are the verified English translation(s) of the above-noted priority application(s).

If necessary, the Commissioner is hereby authorized in this, concurrent, and future replies, to charge payment or credit any overpayment to deposit Account No. 02-2448 for any additional fees required under 37 C.F.R. 1.16 or under 37 C.F.R. 1.17; particularly, extension of time fees.

Respectfully submitted,

BIRCH, STEWART, KOLASCH & BIRCH, LLP

By: 

CHARLES GORENSTEIN

Reg. No. 29,271

P. O. Box 747

Falls Church, VA 22040-0747

Attachment
(703) 205-8000

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

2-20-01
BSKB
(703) 205-8000
0033-0695P
1 of 1

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application:

2000年 2月21日

出願番号
Application Number:

特願2000-042417

出願人
Applicant(s):

シャープ株式会社

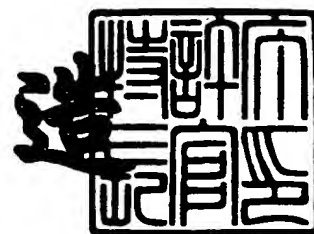
JP021 U.S. PTO
09/785308
02/20/01

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 1月26日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3114709

【書類名】 特許願

【整理番号】 99J03412

【提出日】 平成12年 2月21日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04H 1/00

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府大阪市阿倍野区長池町 2 2 番 2 2 号 シャープ株式会社内

 【氏名】 湯浅 夏樹

【特許出願人】

 【識別番号】 000005049

 【氏名又は名称】 シャープ株式会社

 【電話番号】 06-6621-1221

【代理人】

 【識別番号】 100102277

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 佐々木 晴康

 【電話番号】 06-6621-1221

 【連絡先】 電話 0 4 3 - 2 9 9 - 8 4 6 6 知的財産権本部 東京
知的財産権部

【選任した代理人】

 【識別番号】 100103296

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 小池 隆彌

【選任した代理人】

 【識別番号】 100073667

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 木下 雅晴

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 012313

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9902286

【包括委任状番号】 9703283

【包括委任状番号】 9703284

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報表示装置及び情報表示システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも第 1 情報及び第 2 情報からなる情報を受信する情報受信部と、前記受信情報から第 1 情報と第 2 情報とを抽出する情報制御部と、前記抽出された第 1 情報を表示する第 1 情報表示部と、前記抽出された第 2 情報を表示する第 2 情報表示部とを有することを特徴とする情報表示装置。

【請求項 2】 少なくとも第 1 情報及び第 2 情報からなる情報を受信する情報受信部と、前記受信情報から第 1 情報と第 2 情報とを抽出する情報制御部と、前記抽出された第 1 情報を表示する第 1 情報表示部と、前記抽出された第 2 情報を順次蓄積する第 2 情報蓄積部と、前記蓄積された第 2 情報を順次表示する複数からなる第 2 情報表示部とを有することを特徴とする情報表示装置。

【請求項 3】 前記第 2 情報は、情報を送信する者が情報を受信する者に対して強制的に提示する情報であることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 記載の情報表示装置。

【請求項 4】 前記強制的に提示する情報は広告情報であることを特徴とする請求項 3 記載の情報表示装置。

【請求項 5】 前記第 2 情報表示部は情報表示装置の電源がオフの状態においても表示し続ける表示デバイスであることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 つに記載の情報表示装置。

【請求項 6】 前記第 1 情報表示部と前記第 2 情報表示部とは異なる表示デバイスであることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか 1 つに記載の情報表示装置。

【請求項 7】 第 1 情報を表示する第 1 情報表示装置と第 2 情報を表示する第 2 情報表示装置とを備える情報表示システムであって、

前記第 1 情報表示装置は、少なくとも第 1 情報及び第 2 情報からなる情報を受信する情報受信部と、前記受信情報から第 1 情報と第 2 情報とを抽出する情報制御部と、前記抽出された第 1 情報を表示する第 1 情報表示部と、前記抽出された第 2 情報を送信する第 2 情報送信部とを有し、

前記第 2 情報表示装置は、前記第 2 情報送信部から送信された第 2 情報を受信する第 2 情報受信部と、前記第 2 情報を表示する第 2 情報表示部とを有することを特徴とする情報表示システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、地上波放送、衛星放送、CATV網、インターネットなどの伝送路を介して伝送されてくる情報、特に広告データを含む情報を受信して表示する情報表示装置及び情報表示システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、伝送路を介して伝送されてくる広告データを含む情報を表示する装置として、伝送された新聞のデータおよび広告のデータを含むデータを受信して記録し、新聞のデータを表示手段で読み出した後、所定の時間が経過すると、表示手段に広告のデータを表示させるデータ表示装置が特開平 8 - 1 8 5 2 1 号公報に開示されている。

【0003】

また、近年では、インターネットを介して広告を配信し、利用者はパソコンなどのディスプレイに表示されるウェブページにその広告をバナー表示させたり、さらに、ウェブページの画面を複数のフレームに区切り、広告のバナー表示を広告専用のフレームに表示させることも可能になっている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、特開平 8 - 1 5 8 2 1 号公報で開示されているデータ表示装置では、所定の間隔毎に広告を利用者に表示して提供できるため、広告を提供する者にとっては有効なものであったが、広告が表示されている間は表示がオーバーラップしているため新聞のデータを読むことができず、利用者にとっては使い勝手の良いものではなかった。また、利用者がその新聞データをすぐに読み終えてしまった場合は、広告データが表示される前に利用者は画面を見るのをやめてし

もうという問題があった。

【0005】

また、インターネットを介したウェブページの広告表示では、広告専用のフレームに広告を表示させることにより、メイン画面を表示するフレームとは独立して広告を表示することができるため、メイン画面の表示が広告の表示でオーバーラップして読めなくなることはなくなり、使い勝手の良い広告表示を提供することができるが、利用者が他のアドレスのウェブページにジャンプすると、その広告表示は消えてしまうという問題があった。また、メイン表示と広告表示とは同一ディスプレイ画面内のフレーム表示で区切られているにすぎず、物理的に区切られているわけではないため、広告表示の画面をメイン表示の画面よりも精細な表示にさせたり、あるいは、メイン表示の画面と広告表示の画面のどちらか一方だけを表示させたりすることはできなかった。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明は上記課題を解決するために、少なくとも第1情報及び第2情報からなる情報を受信する情報受信部と、前記受信情報から第1情報と第2情報とを抽出する情報制御部と、前記抽出された第1情報を表示する第1情報表示部と、前記抽出された第2情報を表示する第2情報表示部とを有することを特徴とする情報表示装置を提供する。

【0007】

また、本発明は、少なくとも第1情報及び第2情報からなる情報を受信する情報受信部と、前記受信情報から第1情報と第2情報とを抽出する情報制御部と、前記抽出された第1情報を表示する第1情報表示部と、前記抽出された第2情報を順次蓄積する第2情報蓄積部と、前記蓄積された第2情報を順次表示する複数からなる第2情報表示部とを有することを特徴とする情報表示装置を提供する。

【0008】

また、本発明は、前記第1情報はユーザが視聴することを選択することができる情報であり、前記第2情報は、情報を送信する者が情報を受信する者に対して強制的に提示する情報であることを特徴とする情報表示装置を提供する。ここで

、強制的に提示する情報とは、例えば広告情報であり、これにより、情報送信者は、効果的に広告活動を行うことができる。

【0009】

また、本発明は、前記第1情報表示部と前記第2情報表示部とは異なる表示デバイスであることを特徴とする情報表示装置を提供する。例えば、第1情報表示部に液晶ディスプレイを採用し、第2情報表示部に電源がオフの場合でも表示し続ける不揮発性の表示デバイスを採用することにより、本発明の情報表示装置の電源をオフにした場合に、第1情報を表示しないで第2情報だけを表示し続けることができる。さらに、第2情報が広告情報の場合には、広告を表示し続けることが可能なため、情報送信者にとっては広告の効果を大きくすることができ、一方、情報受信者にとってはお気に入りの広告を表示し続けることができる。

【0010】

また、本発明は、第1情報を表示する第1情報表示装置と第2情報を表示する第2情報表示装置とを備える情報表示システムであって、前記第1情報表示装置は、少なくとも第1情報及び第2情報からなる情報を受信する情報受信部と、前記受信情報から第1情報と第2情報とを抽出する情報制御部と、前記抽出された第1情報を表示する第1情報表示部と、前記抽出された第2情報を送信する第2情報送信部とを有し、前記第2情報表示装置は、前記第2情報送信部から送信された第2情報を受信する第2情報受信部と、前記第2情報を表示する第2情報表示部とを有することを特徴とする情報表示システムを提供する。本発明の情報表示システムにおいて、上述の複数の第2情報表示部を有する構成を採用することが可能である。また、第2情報を受信者に強制的に提示する情報とすることも可能である。また、強制的に提示する情報を広告情報とすることも可能である。また、第2情報表示部を電源がオフの状態でも表示し続ける表示デバイスにする構成も可能である。また、第1情報表示部と第2情報表示部とは異なる表示デバイスにすることも可能である。

【0011】

【発明の実施の形態】

本発明による情報表示装置の実施形態について図を参照しながら説明する。

＜第 1 の実施の形態＞

図 1 は、本実施形態における情報表示装置の構成を示し、情報表示装置 1 0 2 は、情報受信部 1 0 3、情報制御部 1 0 4、第 1 情報記憶部 1 0 5、第 1 情報表示部 1 0 6、第 2 情報記憶部 1 0 7、第 2 情報表示部 1 0 8 が設けられている。

【 0 0 1 2 】

まず、図 1 を参照して、情報表示装置 1 0 2 が情報提示機 1 0 1 から送信されてくるデータを受信してから表示するまでのデータの流れについて説明する。

【 0 0 1 3 】

情報受信部 1 0 3 は、情報提示機 1 0 1 から送信されてくる第 1 情報データ及び第 2 情報データの 2 種類のデータからなるデータを受信する。

【 0 0 1 4 】

情報制御部 1 0 4 は、情報受信部 1 0 3 で受信したデータを第 1 情報データと第 2 情報データとに分離し、第 1 情報データを第 1 情報記憶部 1 0 5 に第 2 情報データを第 2 情報記憶部 1 0 7 にそれぞれ振り分ける。

【 0 0 1 5 】

第 1 情報記憶部 1 0 5、第 2 情報記憶部 1 0 7 は、情報制御部 1 0 4 で振り分けられた第 1 情報データ、第 2 情報データをそれぞれ記憶する。

【 0 0 1 6 】

第 1 情報表示部 1 0 6、第 2 情報表示部 1 0 8 は、第 1 情報記憶部 1 0 5、第 2 情報記憶部 1 0 7 で記憶された第 1 情報データ、第 2 情報データをそれぞれ表示する。

【 0 0 1 7 】

次に、情報提示機 1 0 1、第 1 情報データ及び第 2 情報データについて具体例を挙げて説明する。

【 0 0 1 8 】

情報提示機 1 0 1 は、テレビ放送局の送信装置であり、テレビ番組データ（第 1 情報データ）及び広告データ（第 2 情報データ）からなるデータを送信する。ここで、テレビ番組データとは、ニュース番組などのテレビ番組を表示するためのデータのことであり、広告データとは、スポンサーなどの広告依頼者から依頼

された広告を表示するためのデータのことである。また、情報表示装置 1 0 2 はテレビ放送を受信可能な装置であり、上記データを受信し表示する。

【 0 0 1 9 】

情報受信部 1 0 3 では、上記データを受信し、情報制御部 1 0 4 で各情報を振り分け、第 1 情報記憶部 1 0 5、第 2 情報記憶部 1 0 7 にそれぞれテレビ番組データ、広告データを記憶させ、第 1 情報表示部 1 0 6、第 2 情報表示部 1 0 8 にそれぞれテレビ番組、広告を表示させる。

【 0 0 2 0 】

図 3 は、上述のように情報表示装置 1 0 2 がテレビ受像機であり、テレビ番組及び広告を受信して表示する場合の表示例であり、テレビ受像機の画面が物理的に 2 つに分離された状態で、第 1 情報表示部 1 0 6 及び第 2 情報表示部 1 0 8 をなす。テレビ番組を表示するための第 1 情報表示部 1 0 6 には「7 時のニュース」と表示され、広告を表示するための第 2 情報表示部 1 0 8 には「液晶は〇〇〇〇」と表示される。この場合、情報受信部 1 0 3、第 1 情報記憶部 1 0 5、及び第 1 情報表示部 1 0 6 は既存のテレビ受像機に使用される部品を代用することができるため、情報表示装置 1 0 2 を製造する場合には、既存のテレビ受像機に情報制御部 1 0 4、第 2 情報記憶部 1 0 7、及び第 2 情報表示部 1 0 8 を追加し、第 1 情報表示部 1 0 6 に対し第 2 情報表示部 1 0 8 を隣接して配置すればよく、製造コストを抑えることができる。

【 0 0 2 1 】

上述の例では第 2 情報はスポンサーから依頼された広告であったが、これに限る必要はなく、例えば既存の文字放送等のデータを第 2 情報として第 2 情報表示部に表示させることも可能である。

【 0 0 2 2 】

次に、情報提示機 1 0 1、第 1 情報データ及び第 2 情報データについて他の具体例を示す。

【 0 0 2 3 】

情報提示機 1 0 1 はテレビであり、情報表示装置 1 0 2 は多機能リモコンである。多機能リモコンとは、テレビ、ビデオ又はエアコン等の家電製品と双方向に

データのやり取りをすることでテレビのリモコンにもビデオのリモコンにもエアコンのリモコンにもなるというものである。この場合、テレビから多機能リモコンに送信される第1情報データは、テレビが現在受信しているテレビ放送のチャンネル番号を示すデータであり、第2情報データは、広告データである。ここで、広告データは外部からテレビに入力されるものであり、テレビ放送局、電話回線、RS232C、又は赤外線を通じて送信されてくるものである。電話回線、RS232C、又は赤外線を利用する場合は、テレビに別途そのための受信部を設ける必要があるが、これらは周知の技術であるため容易に実現することができる。

【0024】

図4は、上述のように情報表示装置102が多機能リモコンであり、チャンネル番号及び広告を受信して表示する場合の表示例である。チャンネル番号を表示するための第1情報表示部106には現在受信中のチャンネル番号「1」がハイライトされて表示されており（図4ではハイライト表示を便宜上、斜線表示で示している）、また、広告を表示するための第2情報表示部108には「すべての機器があなたの手中に…〇〇〇〇メディアクルーズ」と表示されている。

<第2の実施の形態>

第2の実施の形態と第1の実施の形態と異なる主なところは、第1情報を表示する表示部と第2情報を表示する表示部とが同一筐体内に存在しないところである。

【0025】

図2は、本実施形態における情報表示システムの構成を示し、情報表示システムは、第1情報表示装置201及び第2情報表示装置202とから構成されている。第1情報表示装置201は、情報受信部103、情報制御部104、第1情報記憶部105、第1情報表示部106、及び第2情報送信部203から構成されており、また、第2情報表示装置202は、第2情報受信部204、第2情報記憶部107、及び第2情報表示部108から構成されている。

【0026】

まず、図2を参照して、情報表示システムが情報提示機101から送信されて

くるデータを受信してから表示するまでのデータの流れについて説明する。

【 0 0 2 7 】

情報受信部 1 0 3 は、情報提示機 1 0 1 から送信されてくる第 1 情報データ及び第 2 情報データの 2 種類のデータからなるデータを受信する。

【 0 0 2 8 】

情報制御部 1 0 4 は、情報受信部 1 0 3 で受信したデータを第 1 情報データと第 2 情報データとに分離し、第 1 情報データを第 1 情報記憶部 1 0 5 に第 2 情報データを第 2 情報送信部 2 0 3 にそれぞれ振り分ける。

【 0 0 2 9 】

第 1 情報記憶部 1 0 5 は、情報制御部 1 0 4 で振り分けられた第 1 情報データを記憶し、第 1 情報表示部 1 0 6 でその記憶された第 1 情報データを表示する。

【 0 0 3 0 】

第 2 情報送信部 2 0 3 は、情報制御部 1 0 4 で振り分けられた第 2 情報データを赤外線等の無線を利用して第 2 情報表示装置 2 0 2 に送信する。

【 0 0 3 1 】

第 2 情報受信部 2 0 4 は、第 2 情報送信部 2 0 3 から送信された第 2 情報データを受信する。

【 0 0 3 2 】

第 2 情報記憶部 1 0 7 は、第 2 情報受信部 2 0 5 で受信した第 2 情報データを記憶し、第 2 情報表示部 1 0 8 でその記憶された第 2 情報データを表示する。

【 0 0 3 3 】

次に、情報提示機 1 0 1、第 1 情報表示装置 2 0 1、第 2 情報表示装置、第 1 情報データ及び第 2 情報データについて具体例を挙げて説明する。

【 0 0 3 4 】

情報提示機 1 0 1 は、第 1 の実施の形態と同様にテレビ放送局の送信装置であり、テレビ番組データ（第 1 情報データ）及び広告データ（第 2 情報データ）からなるデータを送信する。また、第 1 情報表示装置 2 0 1 はテレビ番組データを受信可能なテレビであり、第 2 情報表示装置 2 0 2 は広告データを受信可能なテレビリモコンである。

【 0 0 3 5 】

情報受信部 1 0 3 では、上記データを受信し、情報制御部 1 0 4 でテレビ番組データを第 1 情報記憶部 1 0 5 に、広告データを第 2 情報送信部 2 0 3 にそれぞれ振り分ける。第 1 情報記憶部 1 0 5 に振り分けられたテレビ番組は、第 1 情報表示部 1 0 6 に表示させる。一方、第 2 情報送信部 2 0 3 に振り分けられた広告データは、第 2 情報受信部 2 0 4 に送信され、第 2 情報記憶部 1 0 7 に記憶されて、第 2 情報表示部 1 0 8 に表示される。

【 0 0 3 6 】

本実施形態では、このような構成を採用しているため、テレビ番組をテレビに表示するとともに広告をテレビリモコンの表示部に表示することが可能になる。

【 0 0 3 7 】

図 5 は、上述のように第 1 情報表示装置 2 0 1 がテレビで、第 2 情報表示装置 2 0 3 がテレビリモコンであって、テレビ番組及び広告を受信して表示する場合のテレビリモコンの表示例である。テレビリモコンの表示部には、「すべての機器があなたの手中に…〇〇〇〇メディアクルーズ」という広告が表示されている。

【 0 0 3 8 】

以上、第 1 及び第 2 の実施の形態について説明をしたが、そこでは、情報表示部及び情報記憶部の対は 2 個であったが、本発明はこれに限定されることはなく、その対が 3 個以上あってもよい。その場合、情報提示機 1 0 1 からは 3 種類以上の情報を送信し、情報制御部 1 0 4 においてそれぞれ振り分けられ、それぞれの表示部で表示されることになる。

【 0 0 3 9 】

また、第 1 及び第 2 の実施の形態において、第 2 情報記憶部 1 0 7 及び第 2 情報表示部 1 0 8 が 1 個の対の場合の例を示したが、本発明はこれに限定されるものではなく、2 個以上の第 2 情報記憶部 1 0 7 及び第 2 情報表示部 1 0 8 の対が設けられていてもよい。この場合、複数の第 2 情報記憶部 1 0 7 には、それまでに送信された第 2 情報の履歴が一つずつ順番に保存されており、その第 2 情報記憶部 1 0 7 に対応する第 2 情報表示部 1 0 8 において、その第 2 情報が表示されるこ

となる。

【 0 0 4 0 】

図 6 は第 2 情報記憶部 1 0 7 及び第 2 情報表示部 1 0 8 が 2 個の対からなり、情報表示装置 1 0 2 がテレビの場合の表示例を示す。図 6 では、以前送信された第 2 情報が「液晶は〇〇〇〇」で、最近送信された第 2 情報が「〇〇〇〇 メディアクルーズ」であった場合の一例である。次に新たな第 2 情報が送信されると、左の表示部では「液晶は〇〇〇〇」が消えて「〇〇〇〇 メディアクルーズ」が表示され、右の表示部には新しく送信された第 2 情報が表示されることになる。

【 0 0 4 1 】

また、第 1 及び第 2 の実施の形態において、第 1 情報データとしてテレビ番組、第 2 情報データとして広告の例を示したが、本発明はこれに限定されるものではなく、第 1 情報データがインターネットを介するウェブページを示すデータであってもよい。また、第 2 情報データが映画の字幕スーパーを示す文字データであっても、2 か国語放送時の翻訳を示す文字データであっても、第 1 情報データの補助的な説明をするデータであってもよい。

【 0 0 4 2 】

また、第 1 及び第 2 の実施の形態では、第 2 情報表示部 1 0 8 は広告専用の表示装置であるため、この部分に強誘電性液晶などの不揮発性の表示デバイスを用いることにより、情報表示装置 1 0 2 の電源を切っても広告を表示し続けることが可能になる。例えばお気に入りの広告表示を受信した場合には、表示設定手段（図示せず）により、それを第 2 情報表示部 1 0 8 に常に表示しておくように設定すれば、利用者にとってはお気に入りの画像を表示し続けることができ、一方、広告提供者にとっては長い時間にわたって広告が表示されるため宣伝効果をさらに高めることができる。

【 0 0 4 3 】

また、第 1 情報表示部 1 0 6 及び第 2 情報表示部 1 0 8 にそれぞれ表示のオン／オフを切り替えるための電源スイッチを設けることにより、どちらか一方だけを表示するように設定することができ、無駄な消費電力を抑えることができる。

【 0 0 4 4 】

また、第 1 情報表示部 1 0 6 と第 2 情報表示部 1 0 8 とは物理的に離れているため、どちらか一方だけを解像度の高い表示デバイスにすることも可能である。例えば、表示サイズの小さい第 2 情報表示部 1 0 8 だけ解像度の高い表示デバイスを使用し、それに広告表示をさせることにより、より精細な広告表示をすることができるため、広告提供者にとっても利用者にとっても使い勝手が良くなる。さらに、表示サイズの大きい第 1 情報表示部 1 0 6 は解像度の高い表示デバイスを使用しなくても良いため、製造コストを低く抑えることができる。

【 0 0 4 5 】

【発明の効果】

以上説明してきたように、本発明によれば、テレビやリモコン端末にメイン情報の表示部とは別に独立した表示部を設け、その独立した表示部に広告等を表示することができる。その広告は広告専用の表示部に表示されるので、ユーザの見たい情報を邪魔することなく広告を表示でき、また広告専用の表示部を高品位のものにすることによって、品位の高い表示をすることができる。また、広告専用には揮発性の表示部を用いることで、テレビやリモコンの電源が切れている時でも、常に広告を表示し続けるようにすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の第 1 の実施の形態における情報表示装置の構成図である。

【図 2】

本発明の第 2 の実施の形態における情報表示システムの構成図である。

【図 3】

本発明の第 1 の実施の形態における情報表示装置がテレビである場合の受信情報の表示例である。

【図 4】

本発明の第 1 の実施の形態における情報表示装置が多機能リモコンである場合の受信情報の表示例である。

【図 5】

本発明の第 2 の実施の形態における情報表示装置がテレビリモコンである場合

の受信情報の表示例である。

【図 6】

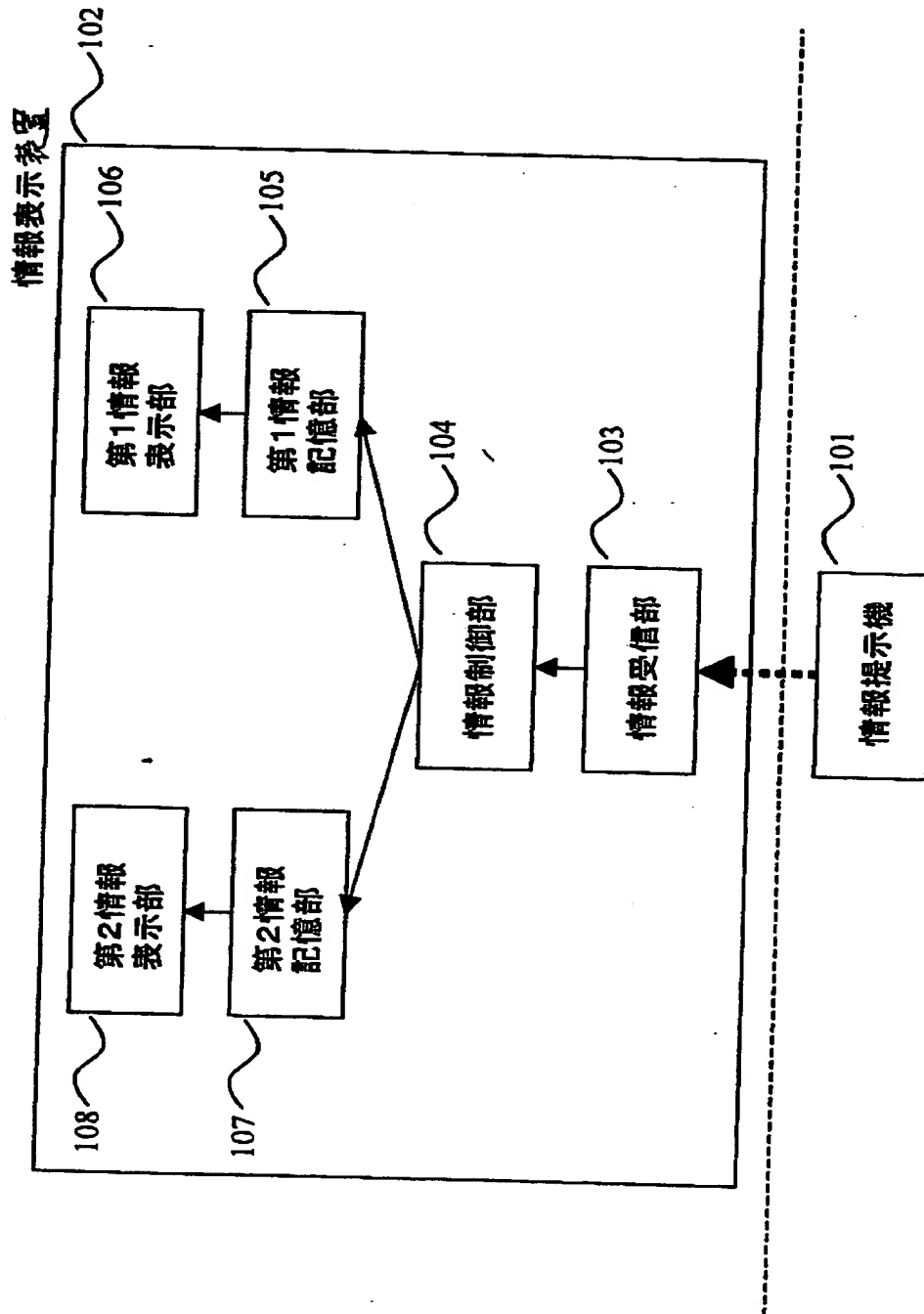
本発明の第 2 の実施の形態における情報表示装置がテレビであって、その表示部が 3 個ある場合の受信情報の表示例である。

【符号の説明】

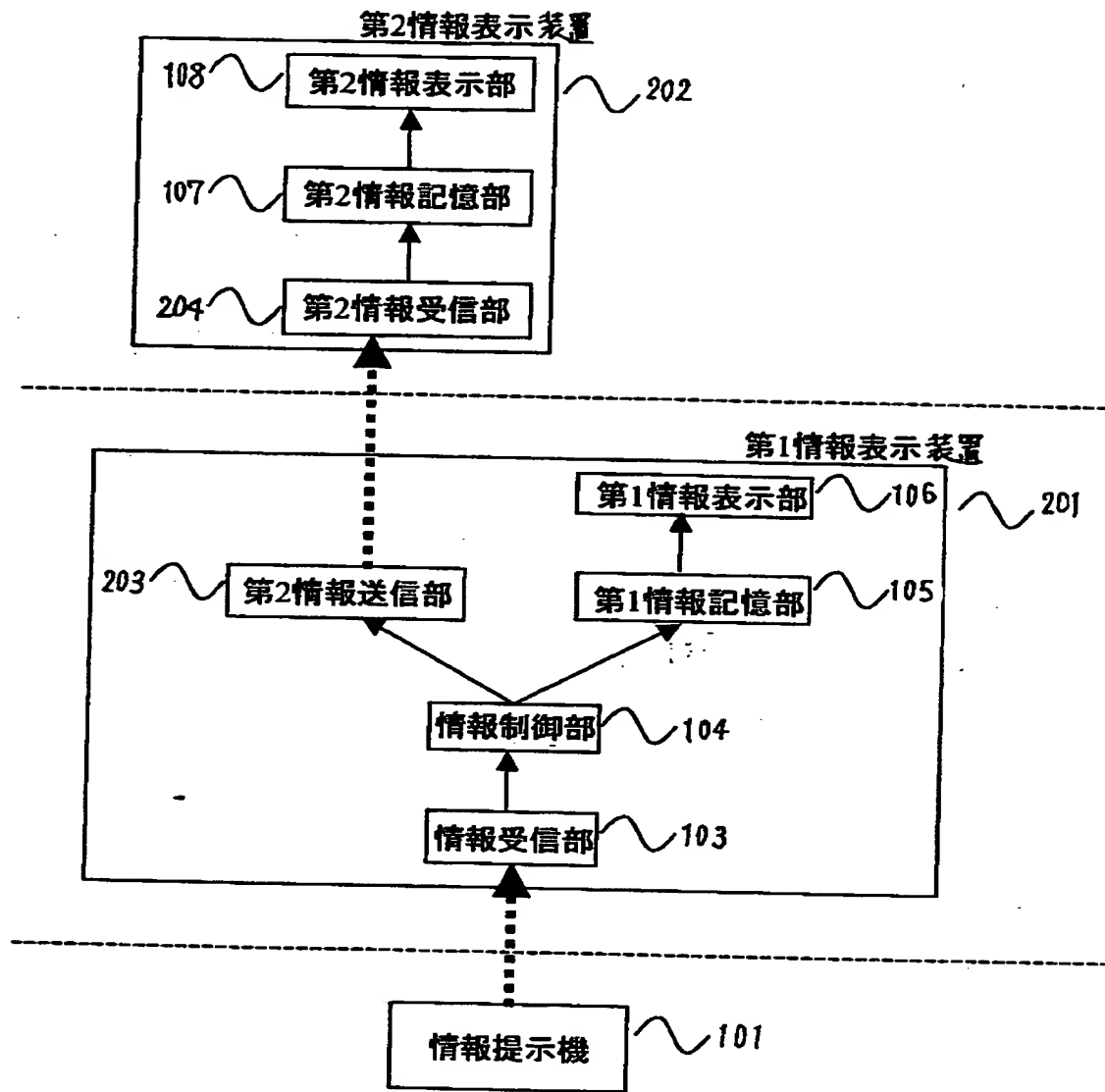
- 1 0 2 情報表示装置
- 1 0 3 情報受信部
- 1 0 4 情報制御部
- 1 0 6 第 1 情報表示部
- 1 0 8 第 2 情報表示部

【書類名】 図面

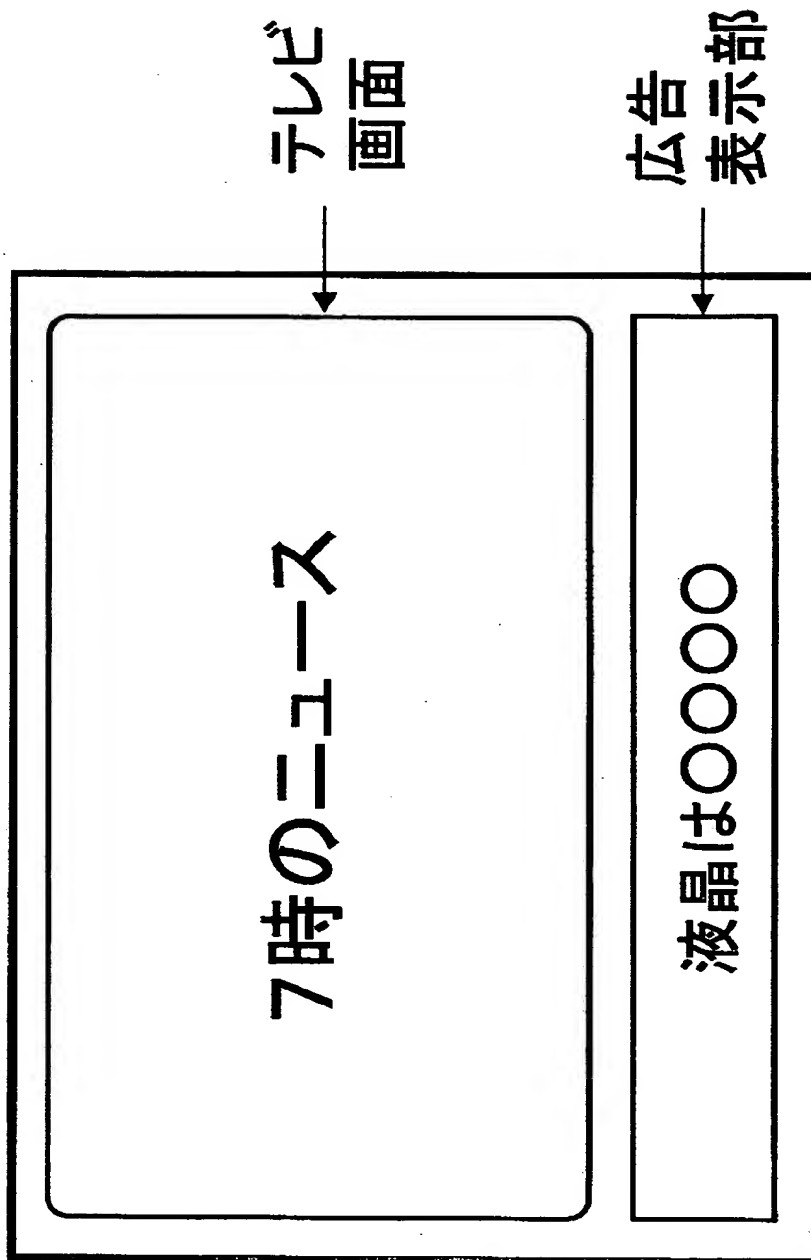
【図1】



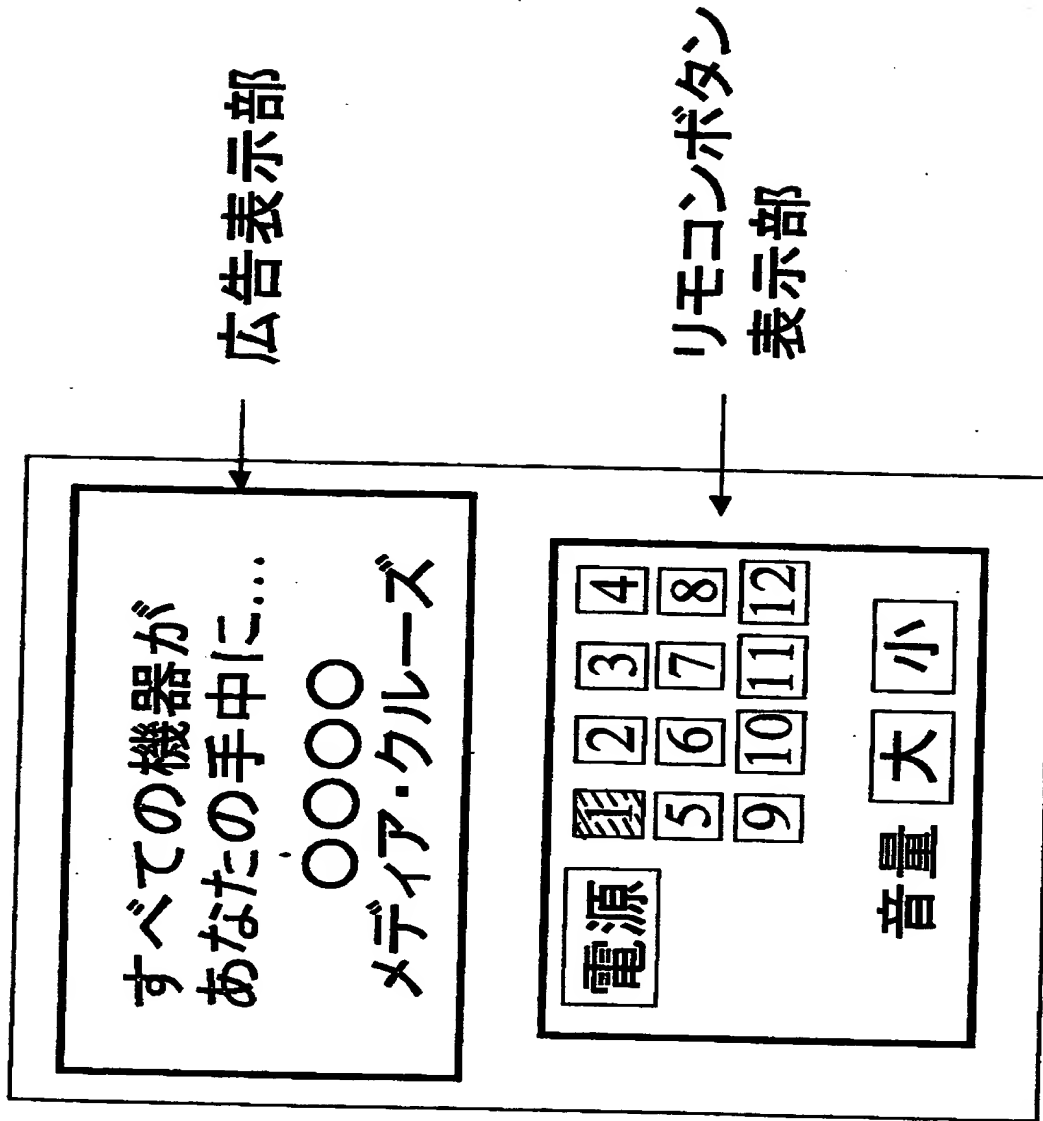
【図 2】



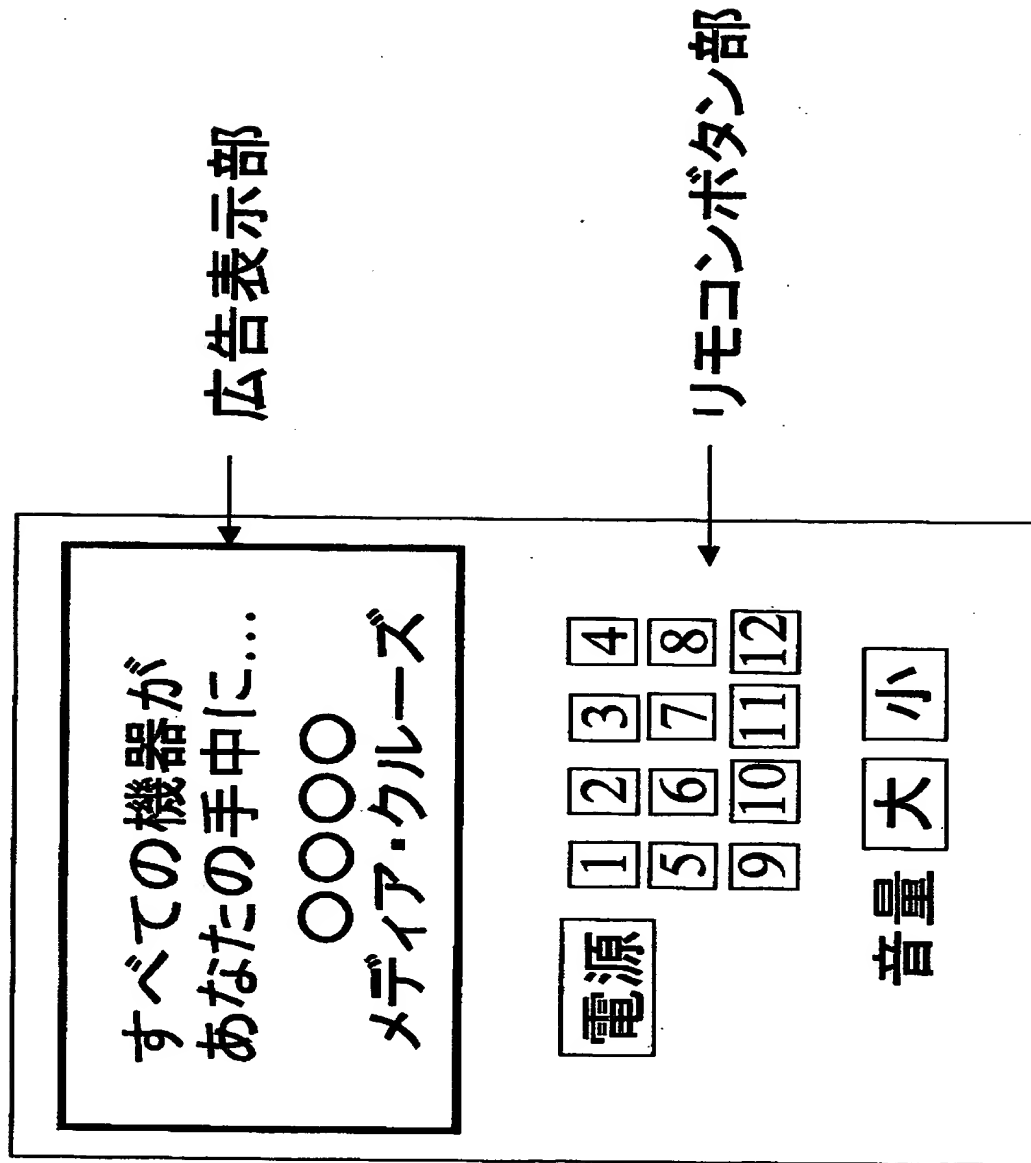
【図3】



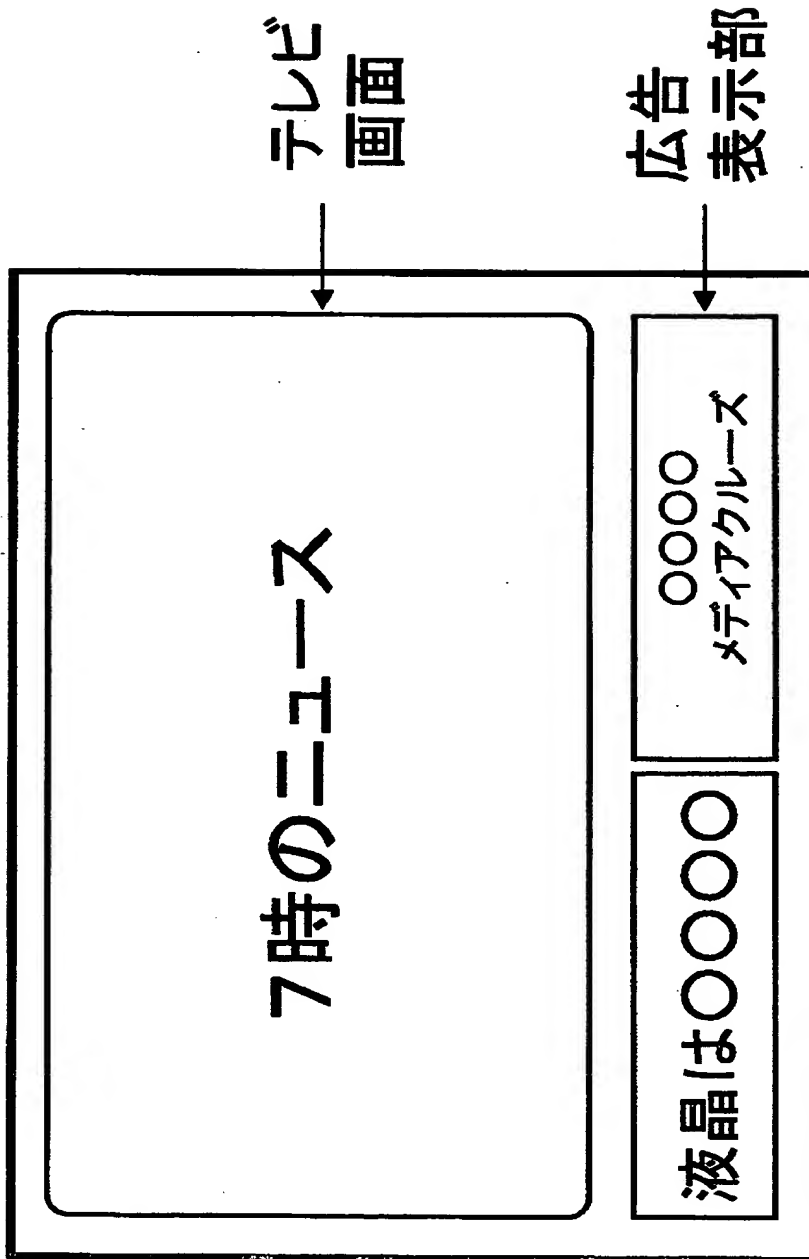
【図4】



【図5】



【図6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 メイン情報と広告情報とを同時に有効に表示することができなかった

。 【解決手段】 少なくとも第 1 情報及び第 2 情報からなる情報を受信する情報受信部と、前記受信情報から第 1 情報と第 2 情報と抽出する情報制御部と、前記抽出された第 1 情報を表示する第 1 情報表示部と、前記抽出された第 2 情報を表示する第 2 情報表示部とを有することを特徴とする情報表示装置を提供する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005049]

1. 変更年月日 1990年 8月29日
[変更理由] 新規登録
住 所 大阪府大阪市阿倍野区长池町22番22号
氏 名 シャープ株式会社